

| | | | | |
|----------------|---|-----------------|-----------------|--|
| 卒業研究 | | 演習 | 教授 田中 秀臣 | |
| 科目カテゴリー | スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目 | 科目ナンバリング | 11130401 | |

1. テーマ

日本及び世界の経済問題，文化経済学，経済思想史のアプローチを取得すること。それらの知識をもとに各自が卒業論文のテーマを選び，年度を通じてその報告や仕上げを行う。

2. ゼミのねらい・概要

卒業研究の目的は，四年次の卒業研究において卒業成果を提出することにある。そのため授業では，各自が経済学の基礎の最終確認，それを各自の選んだテーマに結びつけて論文の形式で提出することが最終的なねらいになる。また多数の人間の前で自分の考え方を公表し，丁寧にまた簡潔に説明するプレゼンテーションの技術を学ぶこともこの卒業研究の大きな課題になる。そのため講義では，基本的な経済書，経済思想史，文化経済学の知識の再確認を行った上で，各自の選んだテーマにしたがってPower point を利用して説明してもらう。

3. ゼミ計画

| | |
|---|--|
| <p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業論文の書き方 2. 卒業論文のテーマ確定 3. 卒業論文のテーマ概要発表 4. 卒業論文のテーマ概要発表その2 5. 卒業論文のプレゼン講座 6. 卒業論文の注釈・引用などの仕方のチェック 7. 卒業論文のテーマの概要発表その3 8. 卒業論文のテーマの概要発表その4 9. 経済思想史のテキスト講義 10. 経済思想史のテキスト講義：応用 11. 経済格差と貧困 12. 福祉と経済思想史 13. 文化経済学の復習 14. 文化経済学と経済思想史の接点 15. 前期のまとめ | <p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 卒業論文のまとめかた 17. 技術的な細目の指導 18. 卒業論文のテーマ再確認 19. 卒業論文概要最終報告その1 20. 卒業論文概要最終報告その2 21. 卒業論文概要最終報告その3 22. 格差と貧困の経済思想史 23. 文化の経済思想史 24. 現代の文化政策の問題 25. 文化現象（アイドル，コミック市場）の分析 26. 卒業論文発表その1 27. 卒業論文発表その2 28. 卒業論文発表その3 29. 卒業論文発表その4 30. 卒業論文提出と諸注意 |
|---|--|

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

特に後期は卒業論文の概要や進展した内容のプレゼンテーションが続くため，目安として2時間以上の学習時間が必要と思われる。ただし運動部など部活動，学生によっては生活環境も異なるので，各自に配慮して無理ない学習時間でゼミを終えることができるように配慮したい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

期末試験は行わない予定だが，レポートの代わりに各自の卒業論文の中間報告，そして最終的なゼミ内発表を行うので，その都度，報告終了時点でコメントや解説を行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

卒業論文の完成という大学生活四年間の集大成という意識をもち経済学の基礎的な項目の，一通りの理解と習得の確認を行った上で，自分の選んだ卒業論文のテーマにそれらの知識を応用し，論文の形式にまとめ，プレゼンテーションを行う技術を取得すること。

7. 成績評価の方法・基準

卒業論文の中間報告（20%）、最終報告（40%）を行うこと。また受講態度（40%）も重要である。

8. テキスト・参考文献

特になし。

9. 受講上の留意事項

卒業論文の作成がなによりも最重点になるので、各自もしくはチームを組む場合は、それぞれのチームが、各々の課題に積極的に取り組む必要がある。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。